

# アクティブラーニング型授業 高校と大学による 事例報告会

9/30  
開催決定!

@関西大学梅田キャンパス

アクティブラーニング型授業効果検証プロジェクト（代表 溝上慎一）では、2014年度より大学を中心にAL型授業の効果検証をおこなっています。本報告会ではプロジェクト協力者とそこで得られた知見を共有するとともに、今後の高大接続を視野に入れて、高校のAL型授業の事例も報告します。会場の都合上、定員120名の限定となりますので、ご希望の方はお早目にお申込みください。

日にち：2017年 **9月30日**（土）

時間：**13:00～17:30**

プログラム：

- 開会の挨拶 森朋子（関西大学）
- AL型授業の効果検証 ～中間成果報告～ 紺田広明（関西大学）
- 大学からの実践報告 関田一彦（創価大学）
- 高校からの実践報告 佐藤透（桐蔭学園）
- ポスター発表と交流



大学側発表者：奥田阿子（長崎大学）、小林和広（島根大学）、  
小山理子（京都光華女子大学短期大学部）、田上正範（追手門学院大学）、  
多田泰紘（関西大学）、千葉美保子（関西大学）、溝上慎一（京都大学）、  
山田嘉徳（大阪産業大学）

高校側発表校：花園学園中・高等学校、帝塚山学院中・高等学校、大阪府立岸和田高等学校、  
山形県立庄内総合高等学校、静岡市立5校（静岡市立高校、清水桜が丘高校ほか）、  
長崎県立長崎東高等学校、神奈川県立港北高等学校

- 総括講演 溝上慎一（京都大学）
- 閉会 森朋子（関西大学）

場所：関西大学梅田キャンパス（大阪駅/梅田駅から徒歩5分）

参加者：プロジェクト協力者およびAL型授業に興味がある学校教育関係者

定員：120名（先着順となります）

後援：関西大学教育推進部

申し込み：<https://reas2.code.ouj.ac.jp/reas/q/50422>

\*本研究会は、大学教育学会からの課題研究助成（H27～H29）「アクティブラーニングの効果検証」（代表者：溝上慎一）、科学研究費基盤研究（B）（一般）（H28～H30）「学習成果に結実するアクティブラーニング型授業のプロセスと構造の実証的検討と理論化」（溝上慎一代表：課題番号16H03075）の助成を受けておこなわれています。

【問い合わせ先】森朋子（関西大学）morit@kansai-u.ac.jp